

事業番号	07 04 03	事業改善シート(令和3年度実施事業分)			□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検		
事業名	IT産業振興事業費	部局	産業労働部	課・室	産業立地・IT振興課		
		実施期間	H27 ~	E-mail	ritti-it@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)							
8つの重点目標	①付加価値を高め、経済成長を実現						
総合的に展開する重点政策	2-1 革新力に富んだ産業の創出・育成		2-5 地域に根差した産業の振興		2-6 郷学郷就の産業人材育成・確保		
	3-7 先端技術の積極的な活用・導入						

1 事業の概要

事業の現状・ 目指す姿 (予算編成時) 及び実施内容	【現状】 ・県内IT産業の事業所数は474カ所で全国15位に位置するが、1従業者あたりの年間売上高は1,507万円(全国20位)で生産性の向上が課題 ・国内の地域間のみならず国際間でIT人材獲得競争が激化している
	【目指す姿】 Society5.0時代のデジタル社会を担うIT人材・IT企業を集積させ、県内産業のデジタルトランスフォーメーション(DX)推進や革新的なITビジネス創出を促進させる
	【実施内容】 信州ITバレー推進協議会の運営、首都圏等のIT人材の誘致・定着

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし、—:数値なし]									
No	成果指標	単位	R1年度	R2年度	推移	R3年度	推移	R3年度目標値	達成状況
1	AI・IoT等導入率	%	13.5	24.8	↑	26.5	↑	50.0	未達成
2	「おためしナガノ」移住支援件数	件	13	12	↓	24	↑	20	達成
3	リゾートテレワーク実施者数	人	231	210	↓	2,649	↑	400	達成

区分(単位:千円)	R1年度	R2年度	R3年度
前年度繰越額	0	0	0
当初予算額	47,875	62,131	124,208
補正予算額	16,749	22,968	0
合計(A)	64,624	85,099	124,208
うち一般財源	45,004	35,623	113,530
決算額(B)	58,360	70,864	113,748
職員数(人)	3.2	3.0	3.0

成果指標及び目標値の設定理由	1.県内産業のDX、デジタル化対応の状況を把握する上で、客観的に判断ができる妥当な基準であることから本指標を設定。目標値は信州ITバレー構想の推進目標と同値に設定。 2.県内へのIT人材等の呼び込み・集積の成果が把握できる基準であることから本指標を設定。目標値は過去の実績値以上で設定。 3.県内へのIT人材等の呼び込み・集積の成果が把握できる基準であることから本指標を設定。目標値は過去の実績値以上で設定。
達成状況の分析	1.基礎的な情報が不足していたり、導入を推進するための社内人材が不在の事業者が依然として多く、前年比微増に留まった。 2.SNS等を活用したPRにより、首都圏等における事業認知度が更に高まったため、目標を達成することができた。 3.ワーケーション自治体協議会(WAJ)との連携等により全国的にワーケーションへの関心が高まりつつあることや首都圏における広告出稿、信州リゾートテレワーク推進チームにおける関係者間の連携を通じて実施者数が増加したため、目標を達成することができた。

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ✓ コンソーシアム形成の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・R2.1に設立した信州ITバレー推進協議会(NIT)の構成員を対象としたプランシエアカフェ(事業計画の提案と磨き上げの場)を6回開催 ・新たなITビジネスを創出するため、地域課題解決や産業DXの推進に取り組む産学官コンソーシアムを活用した連携プロジェクトを支援 ✓ おためし移住を通じた関係創出 <ul style="list-style-type: none"> ・県外のITを中心としたクリエイティブ人材・企業(24組39名)が、最大6か月間程度、県内に「おためし」で住んで仕事をする場合に要するオフィス利用料や交通費等の経費を補助 ・交流会や他事業への参加等を通じ、19組が県内に拠点を維持 ✓ 信州リゾートテレワークの更なる推進 <ul style="list-style-type: none"> ・都市圏企業等に向けた広報を継続 ・WAJ参加自治体等で構成する「信州リゾートテレワーク推進チーム」を立ち上げ、情報交流会等を通じて、地域のネットワーク形成や優良事例の横展開を支援
------	--



県内事例視察



おためしナガノ参加者の交流

2 今後の事業の方向性

	課題等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	<ul style="list-style-type: none"> ・信州ITバレー構想の実現に向けた産学官の連携体制の強化 ・企業を中心にワーケーション導入・実施が進んでいない 	<ul style="list-style-type: none"> ・NITを中心とした産学官連携によるプロジェクトへの支援や国内外への情報発信 ・都市圏企業等に向けた広報を継続しつつ、地域のネットワーク形成や優良事例の横展開を支援することによる県全域の魅力向上

事業名	IT産業振興事業費	部局	産業労働部	課・室	産業立地・IT振興課
-----	-----------	----	-------	-----	------------

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
1	信州ITバレー構想推進事業	16,749 千円	22,388 千円	54,072 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)	
1	・推進協議会運営事業 ・情報発信・プロモーション事業	委託	・コーディネータ及びアシスタント・コーディネータを計3名配置し、信州ITバレー推進協議会の運営や情報発信・プロモーションを実施 ・構成機関の連携強化(事務局会議6回、プランシエアカフェ6回等) ・WEBサイト等による国内外に対する情報発信	
2	コンソーシアム活用型ITビジネス創出支援事業	補助金	県内IT企業の新たなビジネス創出を促すため、地域課題解決や産業dXの推進に取り組む産学官コンソーシアムを活用した連携プロジェクトを支援 (補助件数:10件、補助総額:36,144千円)	

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
2	おためしナガノ2.0事業	7,923 千円	8,345 千円	13,201 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)	
1	おためしナガノ2.0事業費補助金	補助金	県外のITを中心としたクリエイティブ人材・企業が、最大6か月間程度、県内に「おためし」で住んで仕事をする場合に要するオフィス利用料や交通費等の経費を補助 (採択件数24組39名)	
2	おためしナガノ2.0事業運営支援事業	委託	参加者募集に向けた事業PR、参加者募集・選考等を実施 (応募件数58組91名、参加者交流会3回開催)	

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
3	リゾートテレワーク推進事業	33,688 千円	40,130 千円	46,475 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)	
1	広報事業等	委託	メディアとタイアップした広告や専用ホームページの運用、県内地域のネットワーク形成支援等を実施(NewsPicks・東洋経済へ記事広告出稿、推進チーム全体会2回、分科会3回開催)	